

懐風館高校 令和6年度第3回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年2月19日(水) 14:00～16:00

2 出席委員 6名

木村会長 黒木委員 松村委員 阪本委員 井上委員 横尾委員

3 報 告

(1) 令和6年度学校経営計画達成状況について(校長より)

- ・学校教育自己診断において、「挨拶をする」生徒の肯定率90.1%(昨年度83.5%)、「放課後や早朝の補習や講習に参加している」生徒の割合39.8%(同31.1%)、「懐風館高校には他の学校にない特色がある」生徒の肯定率73.4%(同64.3%)、「生徒指導の方針には共感できる」保護者78.0%(同66.2%)などの項目が目標を大きく上回った。
- ・今年度から広報ツールの一つとして始めた学校公式Instagramは、これまでに700回以上更新。フォロワー数も増えてきた。
- ・地元羽曳野市をはじめ地域や中学校、小学校との交流を計画通り進めることができた。

(2) その他

- ・今年度卒業予定者の4年生大学、短期大学、専門学校への進学、企業等への就職者数とその割合は、卒業者数が減っているものの例年とほぼ変わらなかった。生徒の頑張り地道な努力が結果に結びついたものと考ええる。

4 協議事項

第1号議案 令和6年度「学校経営計画・評価」について

⇒賛成6・反対0により、議決。

第2号議案 令和7年度「学校経営計画」について

⇒賛成6・反対0により、議決。

5 協議・意見交換記録

□・・・学校運営協議会委員 ▲・・・事務局

- SNSで学校の様子を発信する取り組みは広報の発信力強化につながっている。個人情報取り扱いに注意が必要だが、さらに使える動画ツールなども検討してもいいのでは。
- ▲Instagramは現在教員が運営している。将来的には生徒が発信できるようなルール作りを検討中である。
- 遅刻者数も減少しており、日頃から生徒に寄り添った生徒指導を実践している成果が出ているのではないかと。

- 課題の多い生徒が増加している中、SC や SSW を活用するなど教育相談体制の充実がしっかりと図られている。今後も生徒支援のため支援体制のさらなる充実を進めてもらいたい。
- 多くの生徒が悩み事などを教員へ相談しやすいと答えている。安全で安心な学校であるためには非常に大切な事であり、今後も生徒や保護者との信頼関係をより強固なものにしていってもらいたい。
- ▲迅速な生徒支援につなげるため、ケース会議・カンファレンス会議での情報共有や SC や SSW に助言をいただきながら支援する体制づくりを進めることができた。
- 近年、府立高校全般に志願者が減少し、特に南河内地域は中学校卒業者数の減少が顕著である中、地域密着型の学校である懐風館高校の特色と魅力を地域や中学生に積極的に発信しアピールしてもらいたい。また、同時に生徒支援の強化、授業力の向上と充実を図りながら学校力のさらなる向上をめざした取り組みを進められたい。